

## 基地業務群の消防車

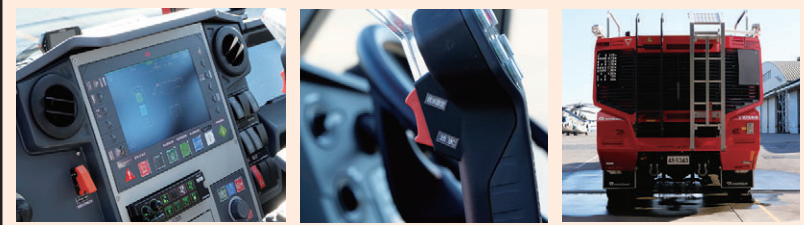
ただの消防車じゃないよ「10000 立級救難消防車Ⅱ型」だ！別名バンター！車体の下にも水噴霧装置があり、自車を炎や熱などから守っている。フロントガラスの上と下の放水銃（タレット）から放水。航空機事故などの際に突進していく。



全長約 12m、全幅約 3.1m、全高約 3.7m、総重量約 33 トン！



即出動に備え、放水後はすぐに給水。タイヤでかっ！



車内 モニターと放水スイッチ

後ろからでも圧倒的な存在感

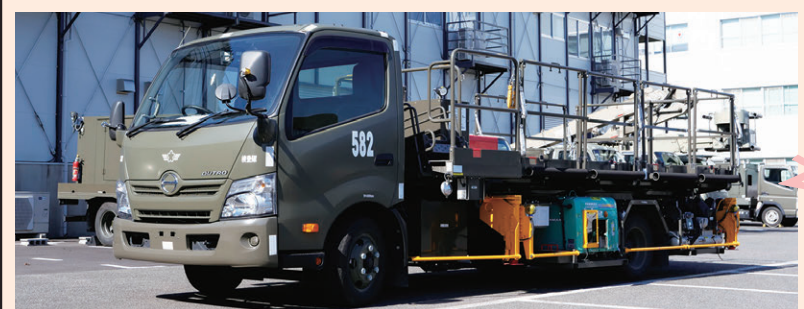
## 航空機を検査する際に使用！

高いからね、大きいからね、航空機って。



自走式電源車

高所作業車



7m 高所作業車

## 基地業務群のこれぞ「はたらく車」のオンパレードだ！



ブルドーザー

ショベルローダー

除雪車

モーターグレーダー。整地で活躍

スィーパー。道路清掃の主役

ダンブ式で集めたゴミを排出

大型草刈機

6t ダンプ

# ゲッキーの突撃レポート 「入間基地ではたらく車」編！

埼玉県入間市と狭山市に跨る「航空自衛隊入間基地」。令和3年12月1日現在、16コの部隊が所在し、航空自衛隊現員数の約1割に当たる 4,200 名が勤務しているマンモス基地だ。昭和13年に旧陸軍航空士官学校が移転してきた場所に入間基地はあるのだけれど、その当時の建物も今は少なくなり…(これは、ゲッキーの突撃レポート「入間基地内古い建物」編をお待ちください)。

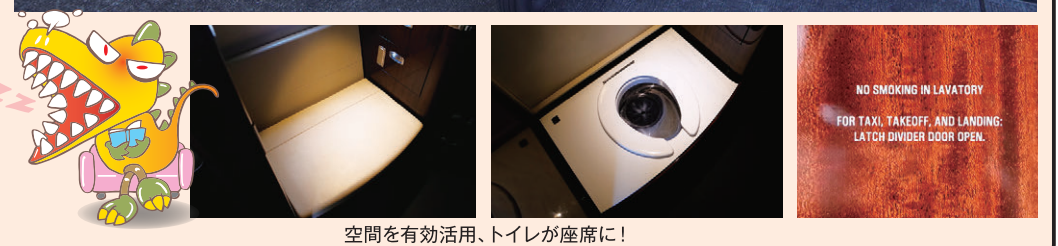
また、毎年 11 月 3 日に開催される「入間航空祭」は大人気で、30 万人を超える来場者があつた年も。例年 5 月には「ランウェイウォーク」が行われ、滑走路を歩くというスペシャルイベントも行われる。ブルーインパルスがオリンピック開催で都内上空を祝賀飛行したり、昨

年の医療従事者への敬意・感謝を示して飛行した時などはここから飛び立って行った。また、記憶に新しいアフガンニスタンなど海外へ派遣される輸送機など、ここから飛び立つことも多い。現在は、入間基地の利点を活かし、災害対処拠点として利用及び物資の集積のための展開用地としても整備中である。

そんな航空自衛隊入間基地、航空機は 8 種類あり、平日でも基地の外から航空機を撮影する人がひっきりなしだ。しかし、今回は、安全に航空機を運航するために入間基地内ではたらく車にスポットを当ててみた。

## 飛行点検隊の新機種

U-680A と一緒に納入されたバキュームカー。機内のトイレは、ホテルみたい！



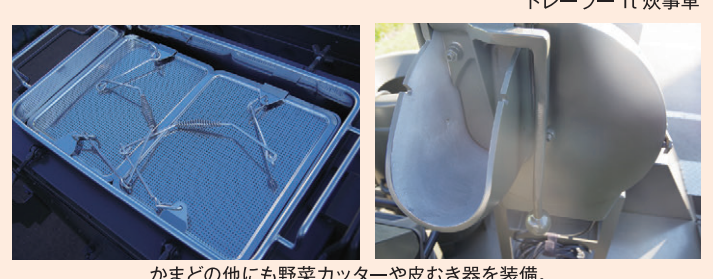
空間を有効活用、トイレが座席に！

## 最新式の炊事車

「トレーラ 1t 炊事車」。これは、トラックに牽引して走行することができ、移動中にも調理ができる。お米だけなら 1 度に 400 人分の炊飯が可能。



トレーラ 1t 炊事車



かまどの他にも野菜カッターや皮むき器を装備。



## 航空機けん引車など

航空機が地上で動くためにはとても大切



航空機牽引車(20トン) C-2を引っ張る



航空機牽引車(3トン)とU-125



カーゴローダー 輸送機からの荷物の積み降ろして活躍



赤いスキー板を履いた CH-47J(入間ヘリコプター空輸隊)

## C-1 輸送機

航空機の側には必ず消火器が置いてある。ここまで乗ってきた自転車は、倒れない様に予め倒しておくんだね。



きっちりまとめられた荷物と荷造り用の金具

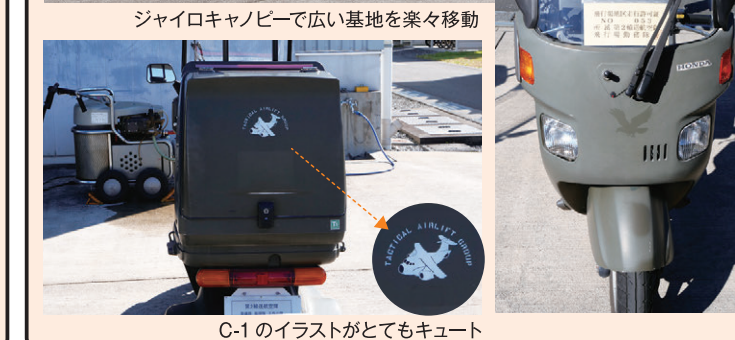
燃料車からの給油

## ジャイロキャノピー

第2輸送航空隊仕様



ジャイロキャノピーで広い基地を乗々移動



C-1のイラストがとてもキュート